



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経財本部長 (氏名) 村田 良伸 TEL 03-3438-2291
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	36,614	1.8	1,945	△22.5	3,637	8.3	1,623	△20.9
2022年3月期第1四半期	35,970	40.6	2,510	—	3,360	—	2,052	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 6,854百万円 (114.3%) 2022年3月期第1四半期 3,199百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	33.04	—
2022年3月期第1四半期	41.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	187,734	108,592	52.8	2,017.55
2022年3月期	180,955	103,094	52.1	1,920.35

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 99,108百万円 2022年3月期 94,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,400	9.9	2,900	△26.1	4,900	△3.5	3,000	△13.9	61.07
通期	153,100	8.7	8,400	11.1	11,400	5.4	7,200	26.0	146.57

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の詳細については、本日（2022年8月2日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	49,757,821株	2022年3月期	49,757,821株
2023年3月期1Q	634,714株	2022年3月期	634,564株
2023年3月期1Q	49,123,182株	2022年3月期1Q	49,083,735株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、収束するかに思えた新型コロナウイルス感染症がオミクロン株により再び感染拡大に転じたことや、半導体等産業用資材の不足、中国ゼロコロナ政策等が複合的に作用してサプライチェーンが混乱し、当社グループや得意先での生産活動にマイナスの影響が生じました。

加えてインフレ圧力が顕在化し、主要先進国では金融引締め動く等、景気先行きに対する不透明感が増してきました。

このような事業環境のもと、当社事業においては円安による押し上げ効果はあったものの、主力の自動車・建設機械業界向け事業が減収減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は366億14百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は19億45百万円（前年同期比22.5%減）、為替差益10億86百万円を計上したこと等により経常利益は36億37百万円（前年同期比8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億23百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、ウクライナ紛争、半導体不足、中国主要都市でのロックダウン、東南アジアのコロナ影響等を受け世界的に自動車生産台数が減少したことにより、当セグメントの売上高は203億40百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は2億84百万円（前年同期比76.3%減）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、海外における顧客の操業が緩やかに回復したことにより、当セグメントの売上高は75億71百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は6億14百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、PC用CPUの新規格対応、データセンターの新設・更新需要が継続し、業界の投資意欲が引き続き旺盛であったことにより、当セグメントの売上高は36億40百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は1億84百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、欧州・東南アジア向け修繕需要が継続し、当セグメントの売上高は32億75百万円（前年同期比20.6%増）、営業利益は8億64百万円（前年同期比64.9%増）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、人工衛星向け仕入品の販売増により、当セグメントの売上高は17億85百万円（前年同期比21.8%増）となりました。営業損失は4百万円（前年同期は営業利益45百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期連結会計期間末の資産は1,877億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億79百万円増加いたしました。これは主として棚卸資産が32億52百万円、有形固定資産が25億99百万円、現金及び預金が15億59百万円増加したことによるものであります。

[負債]

当第1四半期連結会計期間末の負債は791億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億81百万円増加いたしました。これは主として短期借入金24億50百万円、その他流動負債が12億20百万円増加した一方、長期借入金が22億83百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,085億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億97百万円増加いたしました。これは主として剰余金の配当により12億28百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を16億23百万円計上したこと及び為替換算調整勘定が42億90百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の詳細については、本日（2022年8月2日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,806	30,366
受取手形、売掛金及び契約資産	30,207	29,198
電子記録債権	5,248	5,493
商品及び製品	10,169	11,029
仕掛品	6,910	7,459
原材料及び貯蔵品	10,477	12,320
その他	6,600	5,890
貸倒引当金	△96	△94
流動資産合計	98,323	101,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,532	23,200
機械装置及び運搬具（純額）	21,972	22,162
その他（純額）	14,534	16,276
有形固定資産合計	59,039	61,638
無形固定資産		
のれん	1,266	1,158
その他	1,842	1,827
無形固定資産合計	3,108	2,985
投資その他の資産		
投資有価証券	12,785	13,732
その他	7,806	7,822
貸倒引当金	△108	△107
投資その他の資産合計	20,483	21,447
固定資産合計	82,631	86,071
資産合計	180,955	187,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,180	8,648
電子記録債務	2,512	2,907
短期借入金	13,022	15,472
未払法人税等	1,534	1,931
賞与引当金	2,679	1,940
その他の引当金	770	913
その他	12,985	14,205
流動負債合計	42,686	46,019
固定負債		
長期借入金	17,732	15,448
引当金	316	319
退職給付に係る負債	15,412	15,463
その他	1,713	1,890
固定負債合計	35,174	33,122
負債合計	77,860	79,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,296	11,296
利益剰余金	71,483	71,878
自己株式	△213	△213
株主資本合計	93,057	93,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	471
為替換算調整勘定	2,950	7,241
退職給付に係る調整累計額	△2,133	△2,057
その他の包括利益累計額合計	1,275	5,655
非支配株主持分	8,761	9,484
純資産合計	103,094	108,592
負債純資産合計	180,955	187,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	35,970	36,614
売上原価	27,177	28,036
売上総利益	8,792	8,577
販売費及び一般管理費	6,282	6,632
営業利益	2,510	1,945
営業外収益		
受取利息	49	83
受取配当金	8	10
持分法による投資利益	485	319
為替差益	188	1,086
その他	233	291
営業外収益合計	965	1,791
営業外費用		
支払利息	92	92
その他	23	7
営業外費用合計	116	99
経常利益	3,360	3,637
特別利益		
固定資産売却益	2	20
特別利益合計	2	20
特別損失		
固定資産売却損	4	2
固定資産除却損	16	4
特別損失合計	21	7
税金等調整前四半期純利益	3,341	3,650
法人税等	889	1,636
四半期純利益	2,452	2,014
非支配株主に帰属する四半期純利益	399	390
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,052	1,623

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,452	2,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	37
為替換算調整勘定	415	3,907
退職給付に係る調整額	127	107
持分法適用会社に対する持分相当額	218	788
その他の包括利益合計	747	4,840
四半期包括利益	3,199	6,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,863	6,002
非支配株主に係る四半期包括利益	335	851

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	21,985	6,903	2,899	2,715	1,466	35,970	—	35,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	37	—	0	—	73	△73	—
計	22,020	6,941	2,899	2,715	1,466	36,043	△73	35,970
セグメント利益	1,200	603	133	524	45	2,507	2	2,510

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	20,340	7,571	3,640	3,275	1,785	36,614	—	36,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	28	—	0	—	63	△63	—
計	20,375	7,600	3,640	3,275	1,785	36,678	△63	36,614
セグメント利益又は損失(△)	284	614	184	864	△4	1,943	1	1,945

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。